

## 第14回ミナミ活性化協議会代表者会議結果

### 1 日時

平成31年1月31日（木）午後2時から

### 2 場所

大阪府中央区道頓堀1丁目3番3号  
道頓堀リンデンビル（ウインズ道頓堀）4階映像ホール

### 3 出席者（敬称略）

役 職	氏 名
大阪府副知事	竹内 廣行
大阪市長	吉村 洋文
大阪府警察本部長	石田 高久
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡本 敏嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人	福長 徳治
大阪商工会議所副会頭	立野 純三
一般社団法人関西経済同友会代表幹事	黒田 章裕

### 4 意見交換

#### ○ ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長

ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会は、ミナミ活性化協議会代表者会議の構成員でもあり、この活性化協議会は平成17年の第1回目の開催以来、今回で14回目となる。協議会設立当時のミナミでは、黒服を着たいわゆる「カラス族」と呼ばれるホストクラブや風俗店の従業員による客引きが横行し、また、違法風俗店や無料風俗案内所等の乱立、放置自転車やはみ出し看板等様々な問題を抱えていた。そのような中、「風情あるミナミのまちを取り戻したい」「ミナミのまちを自分たちの手で良くしていこう」という地元の熱い思いを受けて、平成17年2月に地元商店会や地域振興会などで構成する「ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会」を設立し、同年9月にはミナミ地区の環境浄化、環境美化を推進するために、このミナミ活性化協議会を設置した。

以来、我々地元では「みんなでつくろう ええ街ミナミ」をスローガンに掲げ、地域商店街、住民、関連機関の皆様と連携し、夜間パトロールの実施やはみ出し看板等の解消に向けた自主規制を行う等、様々な活動を展開し、客引き行為、違法広告物、放置自転車等の解消に向けて取り組んできた。その結果、平成22年には用途を制限した宗右衛門町地区地区計画条例が制定され、宗右衛門町通りの無電柱化と石畳化が実現した。また、平成25年には心斎橋筋商店街において景観協定、一昨年8月には戎橋筋商店街において建築協定が締結された。関係行政機関、経済界においても、環境浄化に向けた違法な客引きの取締り・規制や放置自転車対策、魅力とにぎわい創出に向けた事業や支援等、様々な対策に取り組んでいただいた。

なんば駅前の広場化や御堂筋等の空間再編といった歩行者を優先とした都市空間整備が行わ

れる等、活性化を進めていただき地元として大変感謝している。そういう取組みが重なり、2025年国際博覧会の大阪開催にも繋がったのではないかと思うし、今後ますますミナミの活性化に繋がると思う。

本日は、私からミナミ歓楽街環境浄化推進協議会を代表して、「安全安心で快適なまち」「魅力とにぎわいのあふれるまち」の2つの観点から、現状と問題提起を行い、積極的な意見交換を行いたいと思う。

はじめに、客引き問題については、南警察署による違法な客引きや違法風俗店の摘発、いわゆる「半グレ」と呼ばれる不良集団の取締りに加えて、大阪府警察本部による捜査員を集中投入した一斉取締りや年末の機動隊員の投入、更には未成年者のガールズバー従業員への一斉補導等も行っていただいた。このように、大阪府警察全体でミナミの環境浄化に取り組んでいただいていることに、地元としても大変心強く感じており、厚く感謝申し上げます。また、大阪市においても、平成26年に全国初となる客引き適正化条例を制定されて以降、指導員の方の手厚い巡回・指導を行っていただいているほか、店舗や客引きの専門業者に対しての立入調査や、確信犯的に客引きを行う悪質な飲食店については、店舗名や所在地等の公表を行っていただく等、指導員の方による指導につきましては、本当にありがたく思っている。このような取組みが功を奏して、客引きについては数年前と比べて減少していると感じているところであるが、依然として多数の客引き行為者が違法な客引きを行っており、まだまだ厳しい状況であるものと認識している。

今年のG20、ラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック、そして2025年国際博覧会の開催等を見据えると、大阪は世界の玄関口として、ますます国際都市としての役割が求められる。しかし、一番の問題はこの客引き問題であり、これを何とかしなければ、世界中の様々な人達がミナミのまちを訪れたとき、客引きが大きな顔をしてウロウロしている状況はどう映るのかと思うし、大阪は現在、世界から高い評価をいただいているが、客引きトラブルやぼったくり等の発生により評判が落ちかねないと危惧している。

市の客引き適正化条例が施行されて約5年になるが、未だ多くの客引きが路上で活動を続けており、現在の指導員の権限や体制では、客引き行為者とのいたちごっこは否めない感がある。また、警察においても、風適法や府迷惑防止条例等の既存法令で数多くの客引きを検挙していただいているが、深夜のミナミに溢れ返る客引きの人数を考えると、散発的なものに止まっているという思いもある。地域としても、なかなか改善しない客引きの現状に歯がゆい思いをしており、夜間パトロール等を行っても、虚しさを感じることも実際にはある。

客引きを指導・取締りするための条例が存在しても、真に実効性のある執行ができなければ、有名無実なものになりかねない。今後、指導員の更なる権限強化のための市条例改正や指導員の増員、また、一層厳格な取締りを行うための府迷惑防止条例の改正等が必要な段階に入っているのではないか。過去には、府の迷惑防止条例や無料案内所に対する条例を改正していただき、ミナミの風俗環境が大きく改善した事例もある。ぜひ、条例改正等も含めた客引きの抜本的な対策の検討をお願いしたい。

ミナミの活性化を図る上で一番大事なことは、言うまでもなく多くの方々にミナミへ来ていただくことであるが、それには安全・安心がしっかりと根付いていることが非常に重要である。地元としても、これまで以上に警察、行政と連携を図りながら、夜間パトロールの継続的な実施や、違法風俗店をビルに入居させないための検討を重ね、さらに、大阪市の条例に従わず公

表された悪質な店舗を広く周知する等、まち全体として違法な客引きを許さない気運づくりに取り組んで参るので、ご指導・ご協力をお願いします。

次に、放置自転車対策については、大阪市で地元の要望を取り入れて、条例改正による規制緩和、撤去作業、隙間を工夫した駐輪場の設置等を精力的に進めていただき、この間の取組みに厚く感謝申し上げます。一方、駐輪場設置のための用地確保が困難な面もあり、また、放置自転車の絶対数が多いため、大幅な改善とまではいかないのが実情であるが、地元としても引き続き、ミナミ地区で事業を営む者に対し、その従業員や来訪者に駐輪マナー等を啓発するよう促すなど、できる限りの取組みを行って参りたいと考えている。今後も大阪市においては、地元と緊密な意見交換・情報交換により、効果的な自転車撤去や駐輪場設置をよろしく願います。

また、戎橋上では、夜間にホームレスが横たわり、観光客等に物乞いを行っているが、放置されており問題の解決には至っていない。戎橋は、大阪への観光客が必ずと言っていいほど訪れるメインスポットであるので、その快適な環境維持は必須である。関係行政機関が連携して対策を行っていただき、再び同様の状態が生じないように取り組んでいただくよう、お願い申し上げます。

続いて、魅力とにぎわいのあふれるまちについてであるが、大阪を訪れる外国人旅行者数は、平成23年は158万人であったのが、一昨年には1,110万人と約7倍になり、その多くがミナミを訪れる等、ミナミはまさに大阪の玄関口となっており、昨今のインバウンド人気を牽引していると同っている。

その観点からも、「なんば駅前の広場化」は観光インフラの整備として絶対にやり遂げねばならない取組みであり、ミナミだけではなく大阪の活性化のための絶好の機会であると考え。現在、大阪商工会議所、府、市、警察、地元が連携し、「なんば駅前の広場化」の実現に向けて具体的な協議を進め、なんば駅前の周辺道路再編がいよいよ実現することとなり、多大なご協力をいただいている各団体の皆様方には心より感謝を申し上げます。「なんば駅前の広場化」は、地域としては、数年前までは夢物語みみたいな話であり、ひとつの空間になるなど考えられない話であったが、世の中が車社会から人社会へと変化し、また、ミナミのにぎわいが出てきたこともあり、地元と行政の考えが一致して、なんば駅前を広場化して、大阪の新しいシンボルとして整備されていく事が本当に現実のものとなった。地元としては嬉しい限りであり、大いに期待もしている。地元としては、新たなシンボルとなるようなグレード感を持った整備を進めていただき、さらに、整備後に効果的な活用ができるような配慮をしていただきたい。また、ハード面整備後の運営についても、地域主体の運営管理になると思っているが、広場の安心快適な環境を維持するための経費を持続的に生み出し、独り立ちできるまでには時間も掛かり、財政的にもどのように発展させていくかという問題もある。運営主体が自立できるまでの間、大阪市・大阪府行政のご支援、財界のご協力をお願いしたい。また、交通管理者においても、地域活性化のために柔軟な対応をよろしく願いたい。

次に、大阪のメインストリートである御堂筋の活性化については、平成28年に千日前通以南のモデル整備が行われたが、千日前通以北のモデル整備についても、側道閉鎖の社会実験等も進めていただき、色々と成果が出ているとお聞きしている。観光客が大幅に増加し、歩行者が輻輳する状況の中、御堂筋の千日前通以北の空間整備を進めば、なんさん通りからなんば駅前、御堂筋、さらには道頓堀川までの一帯における人中心の空間が生まれ、ミナミに歩きやすくて

安全で楽しい空間が構築されることから、地元としても、魅力とにぎわいに繋がるものと大いに期待をしている。さらには、整備後の環境維持や活用についても、官民一体となってお検討いただけたらより発展的かと思うので、この点についてもよろしく願います。

戒橋から太左衛門橋間完成以来14年目になるとんぼりリバーウォークは、官民による様々な取組みを経て、現在、管理運営を委託されている南海電鉄の努力もあり、多くの観光客が水辺を歩き、川側への出店やイベント利用も増えた。それゆえ、水辺空間の風情や美化を維持増進していくために、官民による運用は次の段階へとステップアップが求められているのではないかと。このミナミにおいて、官民一体となってお公共の歩行者空間の管理と活用の仕組みを確立し、まちづくりを進める商店街とともににぎわいを生み出し、世界的規模の安心で歩いて楽しい回遊空間を磨いていけば、2020年の東京オリンピック開催時には、大阪は世界から注目を集めるに違いない。

昨年のこの代表者会議の場でも、なんば駅前広場化や御堂筋空間再編、とんぼりリバーウォークの活性化等についてお願いをしたところ、吉村市長から力強いお言葉をいただいたが、整備はもとより、官民一体となってお持続的に活用する仕組みを整えることで、より広いエリアにおける魅力とにぎわいのあふれるまちづくりへと波及させていきたいと考えているので、よろしく願います。

結びに際して、ミナミの活性化と言うと、どうしても違法な客引きや放置自転車に注意が行きがちであるが、こうしたマイナス要因の除去だけではなく、中長期的なまちの発展を考えた取組みが重要であると思う。それは地元の熱意だけでは実現できず、行政、関係機関のお力添えが必要である。行政においては、より一層リーダーシップを取っていただき、事業化に向けての予算化や運用面での思い切った措置を、スピード感を持って取り組んでいただく必要があるのではないかと。また、関係機関においては、それぞれの機関でお持ちのノウハウを提供していただき、環境整備や支援、規制緩和といった積極的なご協力をお願いする。国内外の観光客が集うシンボリックな上質空間がこのミナミに出現すれば、大阪のイメージも劇的に向上し、大阪全体の活性化に大いに資するに違いない。これまで以上に、このミナミ活性化協議会が丸となって、お互いにビジョンを共有し、「なんば駅前の広場化」をはじめとした事業を、スピード感を持って取り組んでいきたいと思う。

最後に、今後とも行政、警察、経済界、賛同団体の皆様からのご支援、ご協力をいただきながら、ミナミの更なる活性化に向けて活動を推進していくので、何とぞよろしく願ひ申し上げる。

## ○ 大阪府副知事

ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会の岡本会長、福長発起人をはじめ、地域の皆様には、日ごろよりミナミの活性化や環境浄化にご尽力いただき心から感謝申し上げます。

昨年、『2025年国際博覧会』の大阪誘致を見事勝ち取った。これは、大阪市や経済界など含め、オールジャパン体制で、大阪の魅力を全世界にアピールしたことが大きな原動力となった。この誘致活動に応援、そしてご協力いただいた皆様に、この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

さて、大阪を訪れる訪日外国人客は増加を続けている。昨年は、台風21号により関西国際空港が被災した影響で、一時的に訪日外国人客は減少したが、オール大阪の力を結集し迅速に対

応した結果、大阪観光局によると約1,200万人に上る過去最高を更新する見込みであると聞いている。そして、この外国人客の多くが、ミナミのまちを訪れている。多くの人の心を惹きつける、ミナミのまちの魅力をさらに発展させるためには、安全に安心して楽しめる環境づくりが必要である。

この点に関しても、地元の皆様と大阪市や大阪府警察が連携して、地域の皆様による熱心な夜間パトロールや放置自転車対策のほか、喫緊の課題となっている悪質な客引き対策等に継続的に取り組んでいただいている。皆様方の安全で安心なまちづくりの御活動に、心から敬意を表す。

大阪府としても、昨年7月に、18歳未満の青少年が性犯罪に巻き込まれないよう、青少年保護の観点から、いわゆる『JKビジネス』を規制するため、青少年健全育成条例の一部改正など、ミナミ地区の風俗環境の浄化と青少年の健全育成に取り組んでいる。

今後、G20サミットやラグビーワールドカップの開催、そして国際博覧会と世界に大阪の存在感を示していくチャンスが続くことから、大阪のパワーを全世界に示せるよう取り組んでいくので、今後とも皆様方のご理解、ご協力をお願いする。

## ○ 大阪市長

ミナミのエリアは、今や大阪の顔になっているし、大阪の魅力、大阪の個性、そして大阪の歴史が凝縮した素晴らしいエリアだと考えている。

やはり、まちを良くしていくためには何が一番大事かと考えたら、それぞれの思いが大事なのだろうと思う。私自身、出身は河内長野市で、子供の時によくミナミに来ていた。小学生ぐらいのころに父親に連れられてこのミナミに来て、映画を見たり買い物したりということで、思い入れも非常に強い。ミナミのまちは今、世界の皆さんが来て、「また行きたいな、住んでみたいな」と思われる素晴らしいまちになった。そして、それを皆さんが支えているのだと考えている。私もこのミナミのまちをよくしたいという思いが非常に強くあるので、市長としてできることをしっかりとやっていきたい。

まず、なんばの駅前広場についてご指摘があった。これも数年前は夢物語と言われていたが、私は絶対できると思っていた。市長になってから、なんばの駅前を広場にすると声を大にして「あの駅前のエリアを車の溜まりにしておくのはあまりにももったいない」「あそこを人が集える空間にしていこう」と言い、そして実行してきた。もちろん、タクシーの皆さんも事業ができるよう配慮しながら、しかし中心の広場のエリアについては人が集う象徴的なエリアにすべきだというのが私の考え方でもあるし、それを発信して、地域の皆さん、大阪府・府警の皆さんとも意識を共有してずいぶん進んできたと考えている。この実現に向けて来年度には設計・工事に着手し、2020年のオリンピックが開催される年にはなんば駅前広場を完成させたいと考えている。大きな方向性を皆さんと共有し、ぜひ一緒にこれを実現したいと考えているので、よろしく願いしたい。行政としてもこれに取り組んで行く。

それから、御堂筋の道路空間再編についても同様に、地域の皆さんとも、この80周年で色々と練ってきた。そして最終的に100周年を迎えるころには御堂筋全体を人が集う空間にしようじゃないかというプランを作った。今までこれは夢物語と思われてきたかもしれないが、先ほどのなんば駅前広場と同じく、地域の皆さん、そして行政が腹を括れば必ずできると考えているので、ぜひ実現したい。

そして、今、実現に向けて側道の閉鎖を進めている。千日前通以北、道頓堀川までの社会実験を昨年の10月に実施した。交通の影響に関する調査も行い、その結果を分析して、今後整備ができると判断しているので、御堂筋側道の歩行空間化は着実に進めていきたいと考えている。

そして、2025年の博覧会開催までに淀屋橋以南の側道を全て歩行空間化するべきだと思っているし、そのビジョンを策定して現在実行しているところである。この点についても、地域の皆さん、そして府警の皆さんの力も借りながら実現したいと考えているのでよろしくお願ひしたい。

そして、先ほどの話にもあったミナミの活性化について、リバーウォークもそうであるが、私はもう一つ、道頓堀川を綺麗にしたいと思っている。大阪市で平成の太閤下水というものを整備したことにより、東横堀川から道頓堀川に、かつては汚水がそのまま垂れ流しであったが、そういう状況はなくなった。あわせて、東成区にある下水処理場で最新のろ過システムを持つ機材を導入し、2020年のオリンピックのころには、綺麗な川と同じ水質になるまで処理した水を排水する設備ができ上がる。汚水処理を施した綺麗な水をどんどん放水することで、道頓堀川自体を非常に綺麗な川にしていきたいと考えている。また、舟運事業等により、道頓堀川の活性化が非常に進んでおり、水門の時間を延長して欲しいという声もあるので、様々な事業者の皆さんの声も聞きながら、この水辺の空間を更なる魅力ある空間へと高めていきたいと考えている。

そして、何より、2025年の博覧会について、千田会長を含め、地域の皆さんの一致団結したご協力もいただいて、大阪への誘致が決定した。心から感謝申し上げる。

大阪が新しい目標を持って、何か上を向いて歩こうという空気ができた。私はこうした空気が非常に重要だと思っている。昨日、日本国主催で博覧会協会ができたところであるが、目標に向かって大阪を明るく元気に、そして経済の活性化するまちに成長させていきたいと考えている。これからも皆さん、一緒に頑張っていこう。

G20も今年大阪で開催される。認知度が低いと言われているが、6月28、29日に開催され、3万人を超える、本当に多くの方が訪れる見込みである。このG20は、言ってみればトランプ大統領だったり、マクロン大統領だったり、世界37か国の首脳と機関が大阪市内に大結集するという、日本で初めての世界最高峰の国際会議である。大阪の魅力を全世界に発信する絶好の機会だと思っているので、ぜひ皆さんとともに成功させたい。

冒頭に話のあった客引き対策について、客引き行為等適正化条例を施行してから5年間に経過した。先ほどご指摘もあった、指導員の増員、権限の強化、そして条例の規制のあり方も検討してもらいたい、というご意見があった。5年間も経過して、客引きは条例がなかったころと比べれば、100点満点ではないが、一定改善されていると考えている。海外の方を含めて、これだけ多くの方でにぎわっている中、放っておけば客引きはかなり増えていたと思うが、大きく改善された。条例の効果が出ていると思っている。そして条例を実行あらしめるために、いわゆる過料処分、氏名の公表、立入調査といったことも現に実行している。ただ、この条例の規制をさらに強化して、実行性あるものにしていこうというご指摘があった。これは私自身も同意である。5年かけて課題も見えてきたので、さらなる条例の規制強化について検討していきたい。

指導員の増員について、何年か前に、この代表者会議で増員してもらいたいという声があり、現実に増員をした。今回も増員ということであるが、その前に、まず禁止区域の拡大を図っていききたいと考えている。戎橋、宗右衛門町をはじめとした客引きが多く見られるエリアについては、必要な体制を確保して指導員による集中的な巡回指導をやってきた。これらのエリアで一定改善される一方、法善寺や道具屋筋一帯で客引きが目立つようになってきたという実態もある。その

ため、2月2日から法善寺道具屋筋一帯を新たに禁止区域に指定したいと考えている。そして、禁止区域拡大に合わせて、指導員の体制をしっかりと検証して、必要であれば増員ということも検討していきたいと考えている。

増員や権限強化も大切であるが、客引きを許さないという空気感の醸成、環境づくりも非常に重要だと思っている。私も色々考え、内部でもいろいろ議論をして、地元の皆さんとも協議もさせていただいた。その結果、「指導員の存在が見える化してないのじゃないのか」ということを問題意識として提起した。例えば、皆さんが普段安心して安全に生活していくために、警察の皆さんが本当に大活躍をしてくれている。警察の皆さんは、警察の制服を着て、パトカーで巡回しており、それが府民の安心や犯罪の抑止力にも繋がっていると思う。警察官全員が私服警官だったら、安心感を与えることや十分な犯罪抑止力は発揮できないだろう。だから、それは客引き対策においても大事なんじゃないかなと考えている。もちろん、誰が客引き指導員かが分かりやすくなれば、「違反者からも見つけやすくなり、すぐイタチごっこになるやんか」という意見もあるかもしれないが、例えば観光客あるいは一般の市民の皆さんが「あっ、客引きの指導員たちがこうやって頑張ってくれてるんだな」と感じたり、「あそこに客引きがいたよ」と通報してくれたり、全体の空気感として客引き指導員の見える化というのは重要ではないかと考えている。つまり、制服をもっと目立つものにすべきなのではないのかという意見を出した。そして地元の皆さんとの話も経て、3月から指導員の制服を存在感のある視認性の高いものに改める。

ここで、私が新しい制服を試着して披露したい。

#### 【吉村市長が客引き行為等適正化指導員の新制服を着用】

こんな形で、目立つスタイルで、客引き防止を行う。客引き行為等適正化指導員の方に、これを着てもらおう。このように真っ赤な制服で、この帽子も被る。そして、このスタイルで、「もう、まちの中で客引きを絶対許さへんで」という気持ちを持って巡回する。指導員もそうであるが、警察や地域の皆さんの協力も得て、徹底して「客引きはあかんのや」ということを広げていきたいと考えているので、協力をお願いします。

## ○ 大阪府警察本部長

お集まりの皆様方には警察活動に対して様々な面で日頃から大変お世話になっており、この場をお借りしてまずもって御礼申し上げます。

大阪府警察における取組みについてお話する前に、一つ皆様をお願いしたい。

ただいま吉村市長からもお話いただいたように、G20大阪サミットが本年6月28日、29日に、ここ大阪で開催される。サミット開催日の両日とその前後の4日間、阪神高速道路や大阪市内の幹線道路を中心に、頻繁かつ長時間にわたる交通規制が実施される。そのために、マイカー利用の自粛、業務用車両の運行調整にぜひともご協力をお願いしたい。また、検問を始めとする各種の警戒警備も実施されるので、大人数が集まるようなイベント等については開催時期を調整していただくなど、ご協力をよろしくをお願いしたい。

それでは大阪府警察における昨年の主な取組みについてご説明を申し上げます。

府警ではミナミ地区の取組みとして客引き対策をはじめ、違法風俗店舗の流通を遮断するための対策など、風俗環境の浄化に努めてきた。その中でも特に客引き問題については、ミナミ地区を訪れる方々の体感治安を悪化させる要因の一つになっており、継続した取組みを推進している。

具体的に申し上げますと、昨年中は南署では合計145人を検挙したが、南署による取締りに加え、府内の警察署の捜査員を投入し、合計6回の客引き一斉取締りを実施した。この他にも大型バカ

ラ賭博店、年少者を稼働させていたJKビジネス店、あるいは一大派遣型の売春組織の摘発など、環境浄化に向けた各種事件の摘発を行っている。また、客引きとして稼働し警察に検挙されたり、大阪市の指導員から指導警告を受ける大学生が依然として後を絶たない状況にあることから、大阪市と協力し、大学に赴いて客引き抑止の啓発活動を行ったり、昨年末にかけては客引きが多く集まる地区に機動隊員を投入して、制服警察官による警戒活動を強化する等、防犯・抑止面にも重点を置いた取組みを進めている。さらに府警では歓楽街において健全なまちの基盤を築くため、違法風俗店等を摘発した際は、店内の構造設備を解体撤去させるスケルトン化を図ったり、場所を提供する悪質なビルオーナー等を検挙する等、違法風俗店等の再入居防止対策も実施している。

地元の皆様におかれても、商店会等の活動を通じて、取締り後に生じた空き店舗に優良な店舗ができるだけ入居してもらえるよう、ビルオーナー等に働き掛けを行っていただき、まちの健全化、活性化に繋げていただければと考えている。

次に、今後の取組み方針について申し上げる。

最近の情勢としては、フリーと呼ばれる客引きが増加をしてきている。昨年から、勧誘した客に、飲食後、法外な料金を請求し、応じなければ暴行等の違法行為に及ぶ、いわゆる「ぼったくり」が多発した。こうした行為に対しては集中的な取締りを実施した結果、大幅な減少に転じている。今後も引き続き、客引き行為者の取締りはもちろんのこと、客引きによって集客を図る店舗そのものにも焦点を当て、各種法令を駆使した取締りを強化していきたいと考えている。

皆様には警察による取締り、行政による指導だけではなく、客引きは許さない、ミナミの街から客引きを排除するという気運を今後も継続して高めていただきたいと思う。また、府警では対立抗争状態にある暴力団情勢を踏まえ、これら組織の弱体化に向け、資金源となる違法風俗店や薬物密売組織等の取締りを積極的に行い、違法収益の剥奪にも努めていきたいと考えている。

終わりに、ミナミ地区の治安情勢であるが、昨年の刑法犯認知件数は、協議会が設立された平成17年当時に比べると半数近くにまで減少している。他方で、ひったくりや路上強盗のほか、すりや仮睡者ねらい等の歓楽街特有の犯罪は、依然として後を絶たない状況にある。本年6月のG20大阪サミット、さらには2025年の万博の大阪での開催が決定している。

府警ではミナミ活性化協議会の一員として、これまで以上に歓楽街環境浄化活動を強化し、犯罪の抑止・検挙に努め、ミナミの街を訪れる方々の安全安心の確保に努めていきたいと考えているので、今後ともよろしく願いたい。

## ○ 大阪商工会議所副会頭

皆様からそれぞれの団体における取組み状況等をお伺いし、現在のミナミのにぎわいは、安全安心で快適なまちづくりのため、日々環境の浄化に取り組まれている、皆様の御努力に支えられていることを改めて認識し、心から敬意を表す。とりわけ岡本会長、福長発起人をはじめ、地元の皆様の地道な取組み、そして竹内副知事、吉村市長、石田府警本部長をはじめとする、関係者の皆様のご支援に心から感謝を申し上げます。

大阪商工会議所では、事業計画の最大の柱の一つに、都市魅力のさらなる向上を掲げ、賑わいエリア支援事業を実施している。中でも、食やショッピング、エンターテイメント、文化、芸能等の大阪の魅力が凝縮され、インバウンドでにぎわうミナミは、大変重要なエリアである。

すでに皆様がおっしゃられたとおり、大阪では今年の6月にG20大阪サミットをはじめ、2025年万博の開催も決定し、今後世界各国からさらに多くの方々が大阪を訪れる。そのとき関空に降り立つ海外の方々を受け入れる玄関口となるのはミナミである。

特に、初めて日本を訪れた方にとっては、ミナミのまちが大阪だけではなく、日本の都市の印象として記憶に残ると言っても過言ではなく、ミナミを世界が注目するにぎわいエリアにしていかなければならない。その象徴的なプロジェクトが、なんば駅前の広場化である。

大阪商工会議所では、2017年3月になんば駅前空間の再編にかかわる基本計画を策定するとともに、これまでなんば駅前広場化実現に向けた取組みに協力してきた。現在、地元企業、南海電鉄、高島屋等商店街、戎橋商店街、なんさん通り商店会が中心となり、広場を管理運営する法人の設立に向けた準備を進めている。また、広場の設計については、来街者の憩いの場となる上質な空間を実現すべく、大阪市と地元関係者で検討が進んでいると伺っているが、ここで私からなんば駅前の広場化に関して2点お願いを申し上げる。

まず1点目が、広場化の早期実現である。

先に申し上げた通り、大阪では今後、国際的なビッグイベントが相次いで開催され、海外からたくさんの方々が進んで訪れる。この機会を逃がさず捉えるためには、2020年のできる限り早期に、広場化を実現し、1人でも多くの方を広場にお迎えし、ミナミの魅力を体感し、そして発信していただくことが重要である。関係機関との調整など課題は多いと思うが、早期の実現に向け、吉村市長のリーダーシップ、並びに竹内副知事、石田府警本部長のご支援をお願いしたい。

次に2点目が、公民連携による広場の管理と運営である。

広場の運営は、地元が設立する法人が中心となって行われるものと思われるが、駅前広場の魅力を高め、来街者をおもてなししていくためには、様々なイベントなどを展開できるよう、広場の柔軟な活用を認める必要がある。また、そうすることで、地元の法人が広場を安定的に管理運営できるようになると思う。そのため、行政には広場化が実現した後も、引き続き、地元と連携して、広場の管理運営にご支援を賜うようお願いする。

最後に、大阪商工会議所では、なんば駅前広場化をはじめ、広報誌の作成やイベントでのブース出展を通じたミナミの観光情報、魅力発信や、放置自転車対策に引き続き協力することで、ミナミの発展に寄与していきたいと考えているので、よろしくをお願いしたい。

## ○ 一般社団法人関西経済同友会代表幹事

黒田でございます。

岡本会長のお話を聞いていると、大変根の深い、難しい課題を皆様方、お力を合わせて頑張っておられるんだなという風にお伺いした。関西経済同友会も大阪商工会議所様と同じように関西の都市魅力向上委員会というのをつくり、都市づくりに関する有識者を招聘して講演会を開くなど、委員会を開催している。

そういう中でキタもミナミもそうだが、これから大阪、関西が、どう魅力を増していくかということに対して議論をしてきた。幸いなことに2025年の大阪関西万博が決まり、2800万人の方がこの6か月の間にお越しになる。

しかし6か月の間にこれだけの方がお越しになるということは、大阪中は人であふれるということになり、そのためにいろんなインフラを今から準備をしていくことになるだろう。ただ、残念なことに6年しかない。この6年の間に他の皆様方が、それこそ心血を注いでこのミナミを良いまちにしようとしてこられたやり方と、これから6年間の間に皆様方が同様に、また大阪を、ミナミを全く変えようというふうに考えておられるスピード感とやり方、方法論は全く違うのではないかなというふうに私は聞かせていただいた。

そういうことで大変短い間に、このような大阪ミナミをどういうふうに変えていくかということに関して、従来とは違うやり方というのが必要ではないかと考える。ではどうするのかということだが、先ほど市長が着ておられた真っ赤なユニフォームを着ることも一つということ。ああいうふうに全く今の制服は知らないが、色を変えるとかやはりダイナミックにやり方、方法論を変えることが非常に重要ではないかなと思う。

同友会では、世界中にいろんな勉強に行っておりまして、イスラエルに10月頃に訪問した。ミナミが抱えているような課題の解決にはNPOや地元の人たちの解決方法だけではなくて、イ

イスラエル中からベンチャーを募って、そしてこの課題を投げかけられている。100社ほどに課題を投げかけて、採用されるのは3つのグループくらいだが、そのグループに1,000万ぐらいの費用をかけて、さあ課題解決をしろということで、その結果、根こそぎその地域を活性化する。そうすることによってイスラエル中の同様の課題を抱えている地域の問題が解決する。今のミナミの問題は多分、この大阪だけではなくて日本中に同様の問題が多く、特に東京、名古屋、福岡にはあるかと思うが、そういうものも根こそぎその手法で解決する。それに一番必要なのはテクノロジーだと考える。

万博があと6年、また、G20は今年、もうすでに、こういう催事についてプロジェクトについては、私より前の方々がいろいろ語っているが、今世界中でこれだけのプロジェクトが来ているのは日本だけ、なおかつ大阪だけである。大阪はこれから世界で日本よりも東京よりも有名になるまち、地域だと思う。その中のミナミということで、皆さん方は、ただ何となく良くしようということではなくて、世界でこの10年間、一番有名になるまち、この大阪に、またそのミナミに、どれだけの魅力を作ろうかなという事を考えるべきではないかと思う。

今、スカイオという新しいビルが大阪のミナミにできた。その中に、W e w o r kというベンチャーやスタートアップ、そして大企業のオープンイノベーション、様々な外部の人とビジネスを起こそうではないかという部門の人たちがその中に入って、ビジネスをされておられる。世界97か国、560都市にそのW e w o r kがある。すでに東京には6オフィスができており、福岡、横浜にもできている。

日本にどんどんこれからできてくるのが、キタではなくてミナミにできたいことを、皆さん方はぜひ何かのきっかけとしてお考えをいただければ良いのではないかと思う。観光客はほっておいてもミナミにはたくさんこられる。いかにビジネス客をミナミに誘導するかということにおいて、新しいタイプのシェアオフィスの会社が、なんとこの関西では大阪のミナミにそれをお作りになった。その理由は関空から30分で行ける、そしてこのまちに活気がある、この2点だと聞いている。ぜひ、いろんな悪いところを改善することと、新しいお客様をどう誘導するかということで何かを駆逐するというようなことも、1つのアイデアではないかと思っている。

東京の次には大阪にお越しになった、W e w o r kという新しいタイプの働き方のオフィスが大阪のミナミにできたのは、ある意味一つのきっかけではないかと思う。ぜひ、これから観光ということに視線を合わせて、より良いミナミ作りに力を合わせられるということと、そして新しい大阪ミナミの魅力をどういうふうにお作りになるのが重要だと考える。その魅力がマイナス面を上回れば、マイナスは自然と小さくなるのではないかなと感じている。

最後に、ここに来られるまでの皆様方のミナミのいろんな課題解決に関して、ご協力いただいたことに感謝を申しあげたい

私は子供の頃、上本町六丁目で育った。両親が5人の子どもたちに、いつもミナミの道頓堀のあたりでご飯を食べさせるのが楽しみだった。月に1回、必ずミナミの心齋橋筋の辺りで、洋食を食べておった。そのレストランは、名前も覚えているが、もうない。

しかし、今私たちが歩くミナミとは全く違った家族連れがニコニコとしながら、歩いて、大勢歩いておられるまちの風景だったと思う。そういうものが戻ってくることを心から祈念申し上げる。

## ○ ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人

ミナミ地区の歓楽街環境浄化対策について、各団体が積極的な対策をしていただき、地元として深く感謝している。

「ミナミに住んでよかった、ミナミに来てよかった」と思える、安全で安心なまちを目指して、地元・警察・行政が連携してミナミのまちの環境浄化に取り組んできた結果、特に客引き対策に

ついて、違法な客引きが我が物顔でのさばっていた時期に比べて劇的に改善された。

しかしながら、最近は客引き行為者に大学生などの学生が増えている。他のアルバイトよりも安易に高収入が得られるという触れ込みにつられ、アルバイト感覚の軽い気持ちで客引きを行っているようだ。こういった大学生等への対策として、大学へ赴いて客引き行為の実態等に関する講話を行う等の取組みを、大阪市様によって行っていただいている。

また、先程吉村大阪市長から指導員の新しい制服をご披露いただいたが、本当に素晴らしい。今までの何か分かりにくい形から、はっきりと威厳のある形になった。制服の変更はかねてから地元として申し上げていたことであり、対応いただいたことにも感謝する。

今後も客引き対策については、連携して取り組んでいきたいと思っているが、改めて私から、大阪市の客引き指導員に関して1点要望がある。

先程からの発言にもあるが、更なる客引き指導員の体制強化についてである。平成26年以降、大幅に増員していただいたが、1人でも多く現場に指導員を配置できるようにしていただきたい。市条例や警察当局の強力な取締り等によってミナミの環境浄化が進められたと思うが、指導員によるところも大変大きいと思っている。彼らは、10名、15名でたむろする客引きに対して、2、3名で注意をしなければならぬ。客引きたちは、数を頼って指導員に対して威圧したり食って掛かるなど、現在の体制では多勢に無勢と感じる。指導員の人数を増やすことによって、もっともって客引き防止の威力を増すことができれば、このミナミが世界のモデル地域になるぐらい活性化するのはないかと思う。

まだまだ課題は残っているが、今後も各団体が連携して取り組み、「みんなでつくろう、ええ街ミナミ」を実現したい。

## 5 共同アピールの採択

意見交換後、出席者全員一致で「第14回ミナミ活性化協議会代表者会議共同アピール」を採択した。

## 6 啓発イベント

代表者会議終了後、道頓堀リンデンビル1階コンコースにおいて啓発イベントを行い、共同アピールの報告と決意表明を行った。

## 第14回 ミナミ活性化協議会代表者会議 共同アピール

われわれ、ミナミ活性化協議会は、平成17年の設立から、地元・行政・経済界が連携したオール大阪体制を確立し、大阪ミナミ地区の環境浄化と環境美化を推進するとともに、健全で魅力あふれるまちづくりを進めるなど、誰もが安全で安心して楽しめるミナミのまちの実現に向けて多くの対策を推進してきた。

その結果、今やミナミは大阪の玄関口として、国内のみならず、国外からも多数の観光客が訪れる、まさに世界を惹きつける魅力あふれるまちとなっている。

これはミナミのまちづくりに携わる多くの人たちが、伝統・文化・環境を守りつつ、社会経済情勢にも対応して、まちの安全・安心の維持向上、魅力の創出・発信にたゆみなく取り組んできた賜物である。

2025年国際博覧会の大阪・関西での開催が決定したことにより、世界中の国々から、より多くの観光客が来訪することが見込まれる中、古い歴史を継承しつつ、最新の情報を発信し続けるまちミナミを、更に世界に誇れる安全安心で魅力あふれるまちへと発展させ、「ミナミに住んでよかった」、「ミナミに来てよかった」と誰もが思えるまちを目指して、「みんなでつくろう ええ街ミナミ」を合言葉に、次の2点を目標に掲げて、より一層強力に推進することとした。

### 一、 『安全安心で、快適なまちの実現に向けて』

違法な客引きの取締りや行政指導、客引きをさせない環境づくりに向けた対策、歓楽街における各種犯罪対策や放置自転車対策を推進するとともに、ビルの健全化に向けた対策を継続し、根源的なまちの浄化に取組み、安全安心かつ快適に楽しめるまちづくりを推進する。

### 一、 『魅力とにぎわいのあふれるまちの実現に向けて』

人情と温かみにあふれ、親しみやすい土地柄であるミナミならではの魅力を活かし、居心地良く安心感に満ち溢れた、人中心の空間を再編し、世界的繁華街ミナミの新たなシンボル空間として「なんば駅前広場」を創出するため、地元・行政が一体となり、世界を惹きつける魅力とにぎわいあふれるまちづくりを推進する。

平成31年1月31日

### 【ミナミ活性化協議会】

大阪府知事	松井一郎
大阪市長	吉村洋文
大阪府警察本部長	石田高久
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡本敏嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人	福長徳治
大阪商工会議所会頭	尾崎裕
一般社団法人関西経済同友会代表幹事	黒田章裕

～賛同団体～

ミナミまち育てネットワーク  
公益社団法人関西経済連合会